

笑顔輝く地域づくり支援事業

魅力あるまちづくりのための事業を支援します

「笑顔輝く地域づくり支援事業」は、個性豊かで活力に満ちた地域社会の実現を図るため、住民活動を行う団体が実施する地域の公益的な活動に対し、町が事業費の一部について補助等を行うことにより、地域課題の解決や地域コミュニティの醸成、町民と町の協働のまちづくりを推進することを目的として実施しています。

平成22年度に実施した事業について、実施団体より実績報告書の提出がありましたので、お知らせします。

1	団体名	うらほろ和ごころ体験塾
	事業名称	うらほろ和ごころ体験塾
	事業内容	日本伝統文化の「和」の心、地域間の「和」の心、世代間の「和」の心を育むための活動を行う。伝統文化体験事業を開催し、日本人としての感性、心の豊かさを養い、郷土の伝統文化の継承、普及に努める。また、地域の方々と世代を超えて幅広く交流し、礼儀作法や道徳を学びながら、将来を担う子どもたちの健全育成を図る。
	支援内容	補助金の額 106,179円（補助事業に要した経費：199,879円）
2	事業評価等	<p>■事業評価</p> <p>A（計画通り実施でき、予想以上の成果が得られた）</p> <p>■成果（上記の理由等）</p> <p>本年度予定したどの事業も参加者が多く有意義な活動ができた。伝統文化に関する講義と四季折々の食育に関する事業を通じて、幼児から年配の方まで幅広く親睦交流が図れた。会員以外の参加者も少しずつ増え、当会の目的である「日本の和の心」「家族の和の心」「地域の和の心」を互いに深め合い、その和を広めるための活動ができた。</p> <p>8月22日の事業では、浦幌町と共催することで、事業広告、参加人数、事業内容ともに充実したものとなり、予想以上の成果が得られた。</p> <p>■事業を実施する中で難しかったこと等（反省・問題点）</p> <p>事業をサポートしてくれる人員の不足。土曜日、日曜日は少年団活動（大会等）と重なるため、事業の日程調整が難しい。</p>
	団体名	日本のうらほろ
	事業名称	浦幌ふるさとの味試食会実施事業
	事業内容	浦幌の魅力や価値を見出した子どもたちと保護者が参加する料理コンテストを実施し、浦幌産の食材や特産品を利用した郷土食などの調理を通じて、食文化の伝承など食育の推進を図る。 併せて一般の出品者も募り、浦幌産の食材を使用した料理のレシピ研究や開発、商品化に向けた取り組みを行い、地場産品の地域内消費の拡大を図るとともに、料理やレシピをホームページで公開し、町内外に地場産農林水産物をPRする。
2	支援内容	補助金の額 85,274円（補助事業に要した経費：116,523円）、広報誌への掲載
	事業評価等	<p>■事業評価</p> <p>A（計画通り実施でき、予想以上の成果が得られた）</p> <p>■成果（上記の理由等）</p> <p>当初の予想を上回る15名の参加、16品の出品があった。浦幌町には、他町村と差別化を図れるような特産品は特にない。しかし、浦幌には地場食材を使い、美味しい家庭料理をつくる魅力ある人たちが多くいることを再確認した。16品を試食した60名の表情がそのことを物語っていた。</p> <p>また、今回のレシピは、設置したホームページで紹介しており、こちらも好評いただいている。今後は、町内ではじまっている子どもから始める町づくり「うらほろスタイル」の活動と一層のリンクをしていくことで食育の観点からも「日本のうらほろ」が仕掛ける取り組みが町の発展に寄与できると確信している。</p> <p>■事業を実施する中で難しかったこと等（反省・問題点）</p> <p>商品化に向けてという点では、まだまだ多くの課題が見つかった。誰にどうやって販売するのか？そこまでターゲットを絞っていない中で出来上がってきた料理メニューは、味の出来不出来に関係なく、なかなか販売には結びつかないと実感した。</p> <p>しかし、今後は、そのような従来のマーケティングの理論に影響を受けない浦幌独自のスタイルで販売をしていくことが求められているのかもしれない。例えば、留真温泉メニュー、学校給食メニュー、道の駅限定メニュー、民泊家庭提供メニューなど、浦幌独自の活動を目安としてメニュー開発、商品開発への協力を行っていきたい。</p>
	団体名	日本のうらほろ
	事業名称	浦幌ふるさとの味試食会実施事業

※内容は、各団体の報告書をそのまま記載することを原則に、一部要約させていただいています。

平成23年度「笑顔輝く地域づくり支援事業」を募集します

住民活動を行う団体（行政区やボランティア団体等）が実施する地域の公益的な活動に対して、事業費の補助や支援を行います。詳しくは、役場まちづくり政策課及び上浦幌支所で配布または町ホームページに掲載している「応募要項」をご覧ください。

■支援の内容

- ① 支援対象事業に要する経費に対する補助（1事業あたり20万円を上限）
- ② 町広報媒体への掲載等の協力
- ③ 公益性を高めるための他団体との連絡調整
- ④ 町有施設の利用
- ⑤ 適正な名義使用承諾手続きを経た町の後援及び共催名義の使用
- ⑥ その他町長が事業実施に必要と認めた支援

■募集期間及び応募書類提出先

① 募集期間
予算額に達するまで、毎月15日

締め切り（15日が土・日・祝祭日の場合は、直後の平日）。

② 受付時間

土・日・祝祭日を除く日の8時

30分から17時15分まで

③ 提出先

役場まちづくり政策課（庁舎2階）

持参いただくか、郵送により、提出願います（ファクス、Eメールでの提出はできません）。なお、持参する場合は、上浦幌支所においても受け付けます。

■応募に必要な書類

- ① 笑顔輝く地域づくり支援事業申請書（様式第1号）
 - ② 実施団体概要（別紙1）
 - ③ 事業計画書（別紙2）
 - ④ 事業収支予算書（別紙3）
- ※ 必要書類は、町ホームページからもダウンロードできます。

〒040-0201 町役場まちづくり政策課まちづくり推進係（TEL 576・2112）

新規会員募集

浦幌町老人クラブ連合会
あなたの入会を
お待ちしております

町内各地域には、高齢者の豊かな経験や知識・技能を生かし、生きがいと健康づくりのため15単位の老人クラブが活動しています。町でも、高齢者を主体とする介護予防と相互の生活支援という観点から、老人クラブの活動及び役割に期待をし、おおむね60歳以上の方の加入促進をしています。

支え合い ひとりの心 みんなの力

老人クラブは、健康づくり・介護予防活動を重点に地域の中核となって健康づくり活動の推進を目指しています。

健康で生きがいをもち、閉じこもりや孤立を防ぐ友愛活動、地域の見守りや消費者被害防止、防犯、交通安全推進など「誰もが安心して暮らせる地域社会」を築くために活動しています。

老人クラブに加入すると、町で実施しているスポーツ大会、

ゲートボール大会等に参加することができます。

- ① 生かそう！その貴重な経験を
- ② 示そう！その豊かな心と力
- ③ のこそう！その長寿人生の生き方

【地域にある老人クラブ】

川上老人クラブ、貴老路老人クラブ、上浦幌老人クラブ、活平老人クラブ、留真・瀬多来老人クラブ、常室老人クラブ、帯富老人クラブ、幾千世老人クラブ、稲穂老人クラブ、吉野老人クラブ、養豊老人クラブ、十勝太老人クラブ、厚内老人クラブ、高砂会老人クラブ、招福会老人クラブ

〒040-0201 町役場保健福祉課高齢者福祉係（TEL 576・5111）▽町社会福祉協議会（TEL 576・5566）

★老人クラブの魅力★

生きがいや仲間作りの応援。

老人クラブ傷害保険の加入（いつでも何歳でも可）。手軽に傷害保険に加入できるのは老人クラブ会員の特典です。

研修旅行、お花見、観楓会、忘年会などの実施。

花壇づくりの参加。公共施設に花を植え町民に喜んでもらえる。

会員相互の情報交換ができる。趣味や孫の話など、隣近所の情報を共有し相談できる。